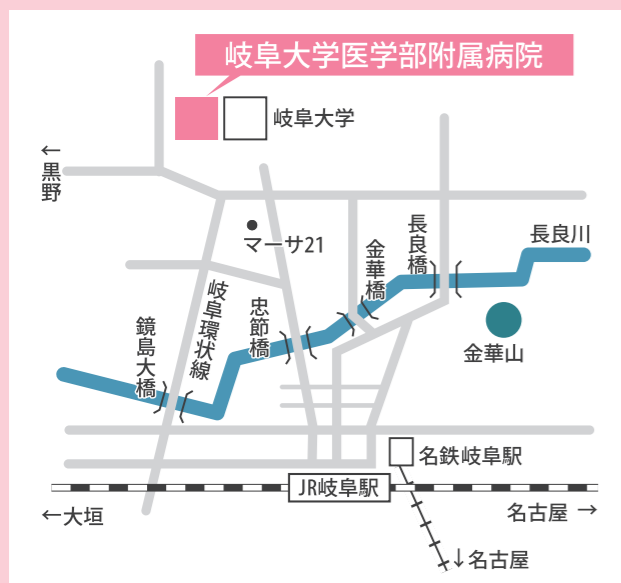


GIFU UNIVERSITY HOSPITAL NURSE RECRUITING GUIDE 2026

岐阜大学医学部附属病院
看護職員募集案内



看護部 採用サイト

看護部の採用サイトでは、看護部の情報や就職に関する情報を発信しております。ぜひ、アクセスしてください。



URL <https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/nurse/recruit/>

岐阜大学医学部附属病院

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

| 看護部 | 058-230-7287 | 総務課人事係 | 058-230-6056

交通 | JR岐阜駅下車、または名鉄岐阜駅下車
岐阜バス「岐阜大学病院行き」にて30分、終点下車

病院の理念

あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

基本方針

「患者中心のチーム医療の提供」 「人間性豊かな医療人の育成」
「先進医療の研究・開発・提供の実践」 「地域との医療連携の強化」

ビジョン

- 安心・安全な最高のサービスを患者に届ける最高の病院の確立
- 高度医療拠点としての機能強化と地域医療への貢献
- 次世代を担う医療人の育成

614床
特定機能病院
臨床研修指定病院
都道府県がん診療連携拠点病院
岐阜県難病医療拠点病院
エイズ治療中核拠点病院
肝疾患診療連携拠点病院
高度救命救急センター
基幹災害医療センター
岐阜県救急外傷センター
原子力災害拠点病院



病院の1階は災害時に対応できるように床暖房や酸素配管などが整備されています。



ドクターヘリとドクターカーで県内外の患者さんの救命に努めています。

MESSAGE

看護部長からのメッセージ

豊かな自然の中で魅力的な先輩看護師たちと
共に成長しましょう！

岐阜大学医学部附属病院は、特定機能病院として、質の高い医療を提供することを使命としています。私たちは、患者さんが治療に主体的に臨み、患者さん自身の回復力を最大限に活かすケアを実践できる看護師の育成を目指しています。「当院で治療をして良かった」「あの看護師と出会えて良かった」と患者さんに感じていただけるような質の高い、思いやりのある看護を実践しています。また、教育機関として、学生および院内・外の看護師と共に学び、主体的にキャリア開発ができる看護師の育成をしています。

岐阜は日本の中心部に位置し、豊かな自然に恵まれ、比較的災害の少ない暮らしやすい土地です。大学病院という組織を基盤に、看護師の福利厚生・教育環境も充実しています。岐阜大学医学部附属病院で看護師として、共に学び、自己の夢や目標を実現してみませんか。魅力的な先輩看護師たちが皆さんを全力でサポートします！



看護部の特色

看護部の理念

思いやりのある看護の実践

看護の提供体制

岐大式パートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）で協力しあいながら看護を行っています。

基本方針

- 1) 患者が置かれている状況から、より多くの必要な看護に気づきます。
- 2) 科学的根拠に基づいた安全な看護を提供します。
- 3) 患者の権利を尊重した看護を提供します。
- 4) 思いやりのある看護を提供できる組織文化を醸成します。
- 5) 患者への医療を継続できるように、地域と連携した看護を展開します。

EDUCATION

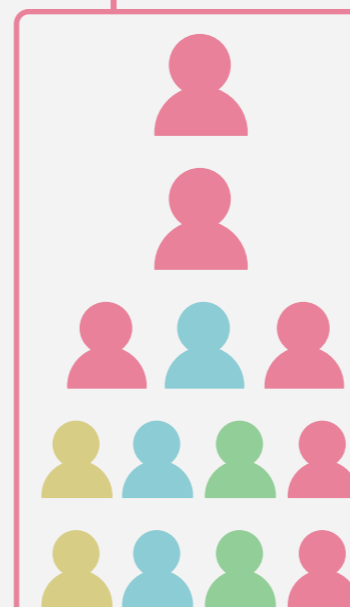
新人の教育体制

各部署に新入職者の教育担当者として、新人担当看護師、実地指導者、新人担当副看護師長を揃えています。

研修責任者

- 新人研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う
- 研修の全過程と結果の責任を有する

プログラム企画・運営組織（委員会等）



新入職者支援看護師

- 研修支援や相談役となり新入職者の職場適応を支援します

新人担当副看護師長

- 病棟や外来、手術室など各部署で新人研修の運営を中心となって行う者
- 実地指導者への助言及び指導を行い、また新人看護職員への指導、評価も行う

実地指導者

- 新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導、評価等を行う者

新人担当看護師

- メンタルサポートを行う者
- 実地指導の指示のもとに教育に参画

新人看護職員






新入職者支援看護師の活動

新入職者支援看護師として、新入職者の皆さんが職場に適應できるよう部署の新人看護師教育担当者と連携し、集合研修や個別でのメンタルサポートを通して新入職者の支援を行っています。また各部署の新入職者の皆さんの希望に応じて、看護技術習得の支援や精神面のサポートなど、様々な支援を実施しています。

当院はサポート体制が充実しており、新人研修では看護技術研修の他、とても充実した内容となっています。



新人教育プログラム：配属部署内教育 と集合研修を効果的に組み合わせて教育します

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			2ヶ月評価 指導者と到達度や目標を共有します				6ヶ月評価 指導者と到達度や目標を共有します				10ヶ月評価 1年間の到達度や2年目に向けた目標を共有します	
部署の教育 1年間の新人教育計画（部署毎）に基づいて行います	岐大式 パートナーシップナーシング 先輩と一緒に行動するため、様々な指導を受けられます											
	日勤の流れの理解 PNSで先輩と一緒に患者さんを受け持ちます。集合研修で学んだ看護技術を患者さんのケアに活用しながら、看護技術を習得していきます。	夜勤の開始 フォローを受けて患者さんを担当し、として自立していきます。日勤では、PNSで先輩と共に、集合褥瘡ケア、高齢者の看護を実践していきます。副担当看護師として患者さんを受け	段階的に夜勤メンバー 研修で学んだ感染管理、看護記録にも挑戦して	受け持ち看護師となります 集合研修・部署の教育で学んだことを生かし、患者さんを主担当として受け持ちます。先輩看護師にアドバイスをもらいながら看護課程を展開します。								
集合教育 看護実践上必要な研修を部署の教育とリンクするように提供します	部署の教育（OJT）とリンクした研修企画											
	・接遇研修 ・看護技術 ・薬剤の知識 ・安全管理等	・感染管理 ・褥瘡ケア ・看護記録 ・看護倫理 ・老年看護 ・救急蘇生 ・フィジカルイグザミネーション			・コミュニケーション研修 ・静脈注射実施訓練							
	ピアサポート研修① 悩みの共有 ストレスコーピング	ピアサポート研修② 悩みの共有 成長の確認			ピアサポート研修③ 悩みの共有 独り立ち後のプレッシャーの解決		ピアサポート研修④ ポートフォリオ作り 1年の成長と2年目の課題の共有					

SCHEDULE

1日の仕事の様子

8:30

日勤開始

情報収集

朝、ペアの先輩と情報収集。夜勤者からの引継ぎと業務の打合せをします。

9:00

検温・検査・清潔ケアなど

担当する患者さんの検温・検査・清潔ケア等を行います。

10:00

入院対応

入院患者さんを担当します。ペアの先輩の支援を受けながら、観察・情報収集・看護計画立案・検査や治療の説明を行います。

11:00

リーダー報告

チームリーダーに患者さんの状態や、業務の進捗状況について報告や相談をします。



11:30

お昼休憩

交代で昼休憩に入ります。しっかり休憩して午後の業務に戻ります。

13:30

点滴準備

点滴準備もペアの先輩と確認して準備をします。落ち着いて手順通り確認するようにしています。

14:30

検査搬出

患者さんをストレッチャーで検査に搬出します。ペアの先輩に教わりながら行います。

16:30

記録

最後に看護記録の記載忘れがないか確認します。あっという間に業務終了時間になりました。

17:15

日勤終了



- 1 チーム医療の中で看護の倫理観に基づいて行動できる看護師を育成する
- 2 高度な医療に対応できる高い看護実践能力を持った看護師を育成する
- 3 主体的に学びを深め、**自己のキャリア開発**ができる看護師を育成する
- 4 患者への医療を継続できるように、**地域と連携した看護**が実践できる看護師を育成する

キャリアパス

看護師としての専門知識や技術を段階的に身につけるために、「クリニカルリーダー」を用いた教育を行っています。さらに、看護師としての専門性を極めるゴールまでの道筋をキャリアパスとして示しています。



岐大式
パートナーシップ・
ナーシングシステム
(PNS)

岐大式パートナーシップ・ナーシングシステム (PNS) では、「共に仕事をする仲間との信頼に基づく対等な関係」作りのために、3つの心 (自立・自助の心、与える心、俯瞰の心) を大切にしています。

岐大式 PNS の感想

新人の皆さんに聞きました!



パートナーを信頼している
100%

パートナーの意見に関心を持っている
98.4%

パートナーの長所を参考にしている
98.4%

パートナーとコミュニケーションをとっている
95.3%

相談しながら仕事を調整している
96.9%



当院の特定の専門性をもつ 看護師

当院では下記の専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師が活躍しています。

● 専門看護師 3名

がん看護	1名	慢性疾患看護	1名
急性・重症患者看護	1名		

● 看護師特定行為研修修了者 25名

● 認定看護師 23名

感染管理	2名	皮膚・排泄ケア	2名
摂食・嚥下障害看護	1名	糖尿病看護	2名
集中ケア	3名	クリティカルケア	2名
小児プライマリケア	1名	手術看護	1名
がん化学療法看護	2名	緩和ケア	2名
がん性疼痛	1名	乳がん看護	1名
認知症看護	2名	新生児集中ケア	1名

専門・認定・特定看護師への道



感染管理認定看護師

感染は目に見えない脅威であり、患者さんに限らず医療従事者の健康にも大きな影響を与える可能性があります。感染管理認定看護師である私の役割は、患者さんや医療従事者が安心して医療を受けられる環境を提供することです。そのため、標準予防策を徹底し、感染リスクを最小限にするため日々取り組んでいます。患者さん一人一人の安全を守るため、常に最新の知識と技術を学びながら、安心できる医療環境を一緒に作り上げていきましょう。

慢性疾患看護専門看護師

私は、患者さんが疾患とうまく付き合いながらその人らしく生きる生活を支援したいと思い、2015年に慢性疾患看護専門看護師の資格を取得しました。資格取得後は、心不全、肥満などの生活習慣病を持つ患者さんなども含めた慢性疾患と共に生きる患者さんの支援を行っています。患者さん一人一人の生活や人生は様々です。疾患と共に生きる生活を支えるために患者さんや家族が持つ力を大切に、その人らしい生活ができることを目指して日々活動をしています。



特定看護師

心臓血管外科・呼吸器外科病棟で勤務しながら、ドレーン抜去、人工呼吸器からの離脱等の特定行為を積極的に実践しています。また、専従で横断的に特定行為を実践する院内担当特定看護師の体制が構築され、私も毎月数日間、横断的に特定行為を実践しています。

今後は特定看護師として、特定行為の知識や技術のスキルアップを図り、医師のタスクシフト／シェアやスタッフ指導の充実につなげていきたいと思っています。そして、私の活動が患者さんの安心と満足につながることを目指していきます。



福利厚生

● 休暇

4週間に8日の休日。年次休暇20日。
夏季休暇 計6日 週休と合わせて長期休暇取得が可能です。
その他、結婚休暇、看護休暇、ボランティア休暇が取得可能です。
育児休業、介護休業制度は整っています。

● キャリアアップ支援制度

専門看護師、認定看護師、特定行為研修、大学院進学などを旨とする看護師に対して、勤務上の配慮や経済上の支援制度があります。
岐阜県立看護大学では3コースの専門看護師養成の大学院があり、仕事を続けながら3年間で専門看護師を目指すことができます。

● 文部科学省共済組合の福祉事業サービス

- ・ベネフィット・ステーションの利用
レジャー・エンタメ・グルメ・トラベル・スポーツ・動画配信割引サービスなど
 - ・KKR ホテルズ & リゾーツ 利用割引・優先予約
 - ・海外旅行・国内旅行の割引
 - ・人間ドック助成
 - ・グループ保険事業、貸付事業など
- 共済組合員対象の特典を受けることができます。

● 看護自治会「向日葵の会」による親睦事業



BBQ

岐阜県山県市にてバーベキュー。
お肉も野菜もたっぷり！美味しかったです。

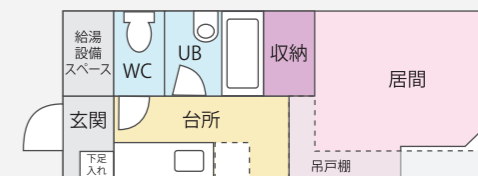
● 看護師宿舎

歩いて1分の職員宿舎が
病院敷地内にあります。
安全で快適なマンションタイプ。



月額共益費 4,000 円（令和6年度）
駐車料金 3,950 円・光熱費・BSTV・インターネット契約は自己負担
3年間入居可

間取り例



● 「ほほえみ保育園」

大学敷地内に定員95名の保育園があります。

● 病児保育「なかよし」

大学敷地内に病児保育施設があります。
小児科医・看護師・保育士とで協力して見守ります。

● 夜間・休日保育室

利用の希望に応じて保育を行います。



男性看護師会

定期的に研修会を開催し、男性看護師のキャリアアップなどについて学んでいます。



同期や先輩と一緒に
看護を考え高めあえる
環境です

ICU

入職1年目 看護師
岐阜聖徳学園大学

— 現在の仕事について教えてください。

主に術後の患者さんの全身管理や院内での緊急で対応しなければならない患者さんの管理をしています。様々な疾患の患者さんがいるので大変ですが、その中でたくさんの経験を積むことができます。

— 仕事のどんなところにやりがいを感じますか？

様々な疾患の患者さんがいるため勉強が大変ですが、日々の経験の中でたくさんの学びを得ることができます。勉強したことが臨床の場に繋がったり、できることが増えた時にやりがいを感じます。

— 仕事のストレスに上手く対処していくためのコツは？

休みの日に出かけたりゆっくりすることでリフレッシュをしたり、自分へのご褒美をあげることでストレス解消ができています。自身の不安や悩みも同期と話すことで抱え込むことなく前向きになることができていると思います。

— 当院の教育体制のよい点を教えてください。

新人一人にプリセプターと実施指導者がつきます。不安なことも多い入職直後から新人のために時間を作り気にかけてくださるため、働き方や悩み事などを相談しやすく沢山助けていただいています。



看護師は
一生勉強つづくよ
どこまでも

心臓血管外科・呼吸器外科・
消化器外科・乳腺外科

入職1年目 看護師
中部学院大学

— 現在の仕事について教えてください。

泌尿器科、総合内科、放射線科の病棟で勤務しています。急性期から終末期の患者さんを看護し、日々様々な経験をしています。退院後に処置やケアが必要となる患者さんに対して退院後も継続してケアができるように関わっています。

— 心に残っている看護を教えてください。

初めてストーマを造設する患者さんを受け持ち、手術の前より患者さんとの信頼関係を築けるように努めました。ストーマケアの手技を獲得し、「本当にありがとう」と笑顔で退院される姿を見て喜んでもらえる看護ができたなと思えました。

— 就職活動で病院を選ぶ時、大切にされたことは？

一番大切にされたことは、教育体制です。集団研修や部署での研修など、新人看護師の時から知識や技術を学ぶ機会が多く、充実していると思います。また、大学病院なので、基礎的な看護技術だけでなく、高度な医療技術や看護技術・ケアを学ぶことができます。

— 「こんな看護師になりたい」というビジョンを教えてください。

看護チームで患者さんを見ることを大切にして、部署の先輩や後輩と情報共有や相談しながら、患者さん一人ひとりに寄り添い、必要な看護ケアを提供できる看護師になりたいです。誰にでも気軽に相談しやすい職場環境で、私自身も後輩に頼りにされるような看護師になりたいです。



患者さん一人ひとりと
向き合い、寄り添う
看護を提供したい

耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・
高次救命治療センター

入職5年目 看護師
福井県立大学

— 当院を志望した動機や入職を決めた理由は何ですか？

新人教育体制が整っていることや特定機能病院であり、高度医療に携わりながら専門性の高い知識とスキルを身につけられると感じたため、当院を希望しました。

— 当院の教育体制のよい点を教えてください。

集合研修で接遇やフィジカルアセスメント、感染管理など看護師として必要な基礎知識を学び、配属部署で先輩看護師と患者さんを受け持ちながら研修で学んだ知識を実践に活かし、看護技術を身に付けることができます。



専門性の高い看護を
学ぶことが出来る
環境です

泌尿器科・総合内科

入職2年目 看護師
岐阜県立看護大学



成長とやりがいを
感じる事が出来る
環境です

手術部

入職5年目 看護師
岐阜大学

— 現在の仕事について教えてください。

手術室看護師として、主に器械出し、外回り業務を行っています。全ての外科手術を担当し、緊急手術にも対応します。医師、麻酔科医、放射線技師、臨床工学技士など様々な職種と協力して日々業務を行っています。

— 仕事のストレスに上手く対処していくためのコツは？

手術室での業務は緊張感もあり、ストレスを感じることもあります。休日は趣味を楽しんだり、たくさん寝てリフレッシュしています。また、同期や年齢の近い先輩後輩と話すことで、スッキリすることができています。

— 現在の仕事について教えてください。

免疫、難病、皮膚疾患といった慢性期疾患と向き合う患者さん、家族が望む生活に繋げる看護を行っています。倫理面で悩むことも多くありますが、患者さんの思いに寄り添った治療、看護を多職種と検討し見つけていくことを大切にしています。

— 仕事のどんなところにやりがいを感じますか？

インスリン自己注射、皮膚の創部処置、胃瘻管理、内服管理等、患者さんや家族が管理できるよう看護介入する機会が多くあります。自己管理ができるようになった姿や患者さんからあたたかい言葉、感謝の気持ちをいただいた際にやりがいを感じます。



思いに寄り添った看護を
チームで考えることが
出来る環境です

脳神経内科・免疫・内分泌内科

入職4年目 看護師
朝日大学



患者さんの思いを
100%叶えられる看護を
目指しています

消化器外科

入職3年目 看護師
岐阜医療科学大学

— 就職活動で病院を選ぶ時、大切にされたことは？

教育体制が充実している病院を選びました。新人教育は精神的サポートを行うプリセプターと技術習得を行う実地指導者がおり、手厚い教育体制が整っています。そのため、1年を通して自信をもって看護を実践することができます。また、2年目以降も継続的に先輩方がサポートしてくださったり、ラダーレベルに応じた研修を受けられるため、段階的に知識の習得をすることができます。

— 心に残っている看護を教えてください。

食道癌終末期で脳梗塞を発症し、半身麻痺になった患者さん。「最後まで自分で歩きたい」という希望を尊重するため、毎日、関節可動域訓練や端坐位、立位の介助を行い、離床をしたいという思いを叶えました。転院する際、「看護師さんがいたから頑張れました。ありがとう。」と言って頂いたときに、患者さんの思いに沿った看護ができたと感じました。